

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年5月27日～2017年6月2日の推移】

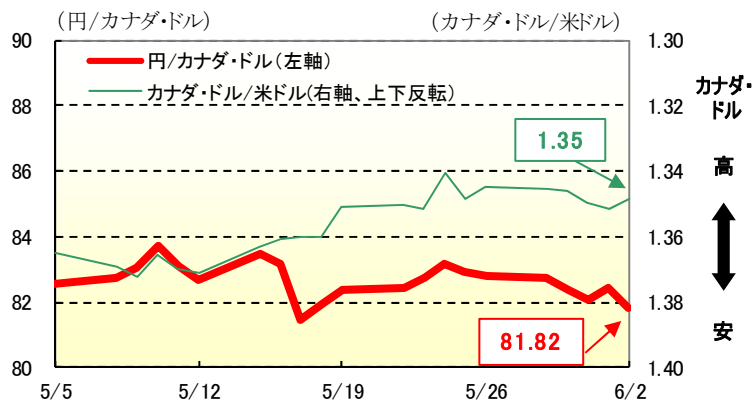
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は米国で発表された雇用統計において、非農業部門雇用者増加数の結果が市場の予想以下であったことから、米国の金利が低下し、それに連れてカナダの金利も低下し、カナダ・ドル円相場も下落しました。

また、カナダで発表されたGDP(国内総生産)が市場の予想以下の結果となったほか、貿易赤字も市場の予想以上の規模となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年5月5日～2017年6月2日)



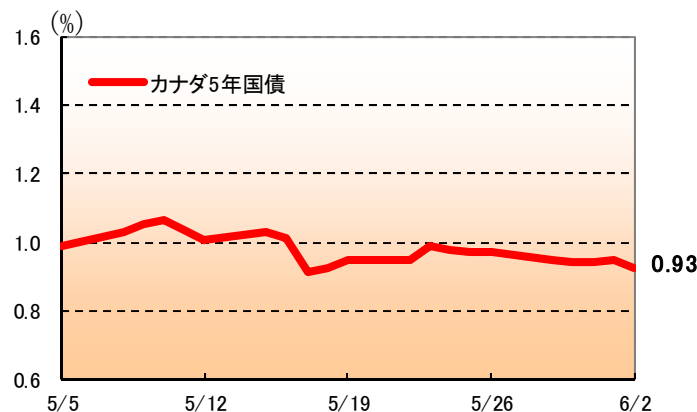
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

カナダについては、経済環境の好転などを背景に当面は政策金利は据え置かれると予想していますが、次の政策金利の変更は利上げ方向とみています。世界的にも金融政策は緩和から正常化へ向かう流れとなっており、カナダは金利上昇圧力が優勢になると考えられます。

今週、カナダでは住宅関連や雇用関連の指標の発表があります。これらが堅調な結果となればカナダ・ドル、金利の上昇要因になるとみられます。

【カナダ 金利推移】 (2017年5月5日～2017年6月2日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>